

1. 基本事項

(1) 検討の背景・目的

檀波羅公園墓地は昭和25年に開設後、数次にわたる拡張・整備を重ね、現在4,444区画の墓地区画及び管理事務所その他施設がある。しかし、開設後、既に70年弱が経過し、敷地内施設の老朽化が進行しているため、今後、計画的に老朽箇所等の改修を行い、安全性や利便性の維持・向上を図る必要がある。

また、今後の市民ニーズに対応するため、敷地内の植栽整理等による墓地区画拡張、合葬式墓地の整備について検討が必要である。これらを考慮し、維持管理基本計画として取りまとめたものである。

2. 施設改修計画の策定

(1) 施設状況確認

檀波羅公園墓地の施設状況を確認するために下記の調査を実施し、調査結果をとりまとめた。

①劣化状況調査

A～Dの4段階（A健全⇔D顕著な劣化）で劣化状況を把握した。

②バリアフリー調査

都市公園の移動等円滑化整備ガイドラインに基づいたチェックリストを作成。バリアフリー基準を満たしているかを把握した。

③ヒアリング調査

管理者に利用状況、管理状況等についてヒアリングを行った。

劣化状況調査結果

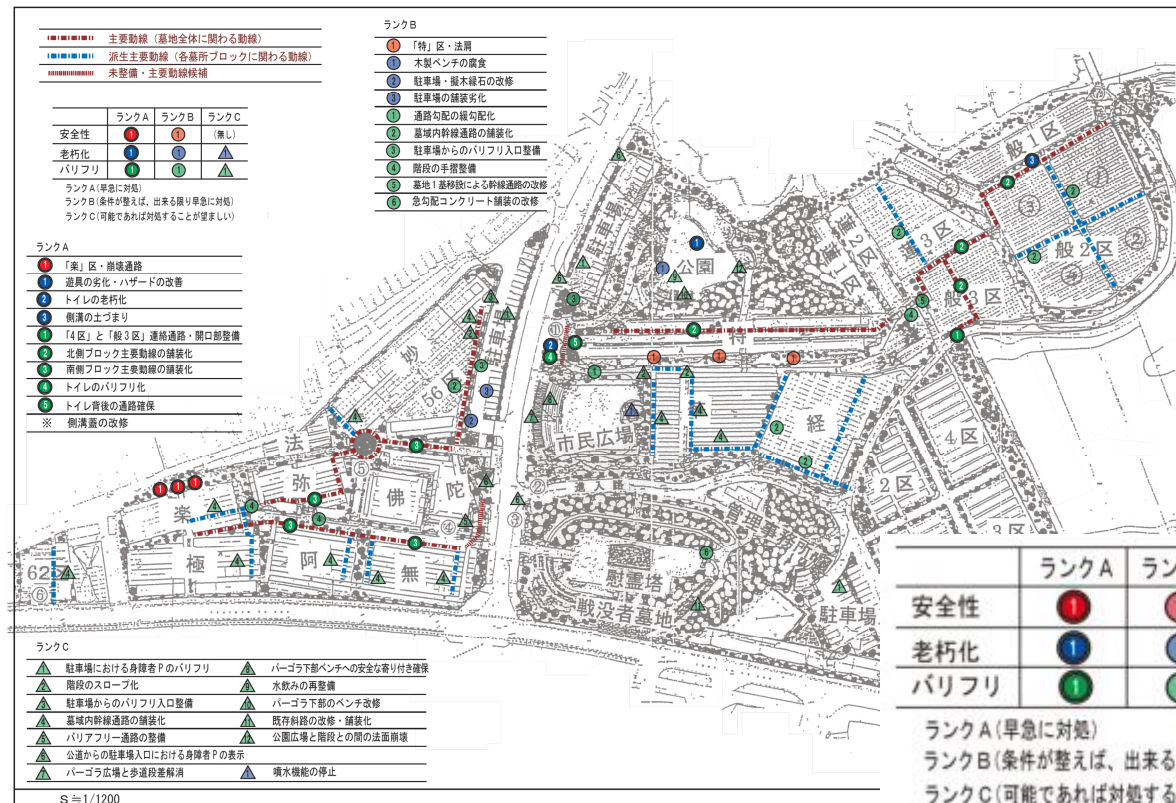
判定	施設名	施設数
A	手すり（公園周辺、市民広場周辺）	3施設
B	舗装、階段、ベンチ、擁壁、水飲み等	107施設
C	ベンチ（公園周辺）、トイレ（公園周辺）、舗装（市民広場周辺）、パーゴラ（慰霊塔周辺）、緑石（南側墓地）、ローラー滑り台（公園周辺）等	14施設
D	フットライト（公園周辺）	1施設
計		125施設

(2) 改修計画検討、策定

改修計画については、市が改修の必要性があると判断した下記の箇所について改修計画を検討した。

加えて、劣化状況調査を踏まえ全体的な老朽化が進行している施設についても、「安全性の確保」、「バリアフリーへの対応」の観点を加えそれぞれA～Cの3段階のランク付け（A早急に対応⇔C可能であれば対応）を行い、いずれか一つの項目に該当すれば改修計画として策定した。

- a. 般2区の墓石(地盤)傾斜
- b. 管理事務所裏の斜面(土砂流れ)
- c. 新墓地への通路(舗装不良)
- d. 公衆便所(バス通り)の雨漏り
- e. 特等地の斜面(土砂流れ)
- f. 特等地から般3区に至る階段(土砂流れ)
- g. 戦没者慰霊碑前の墓石(地盤)傾斜 等



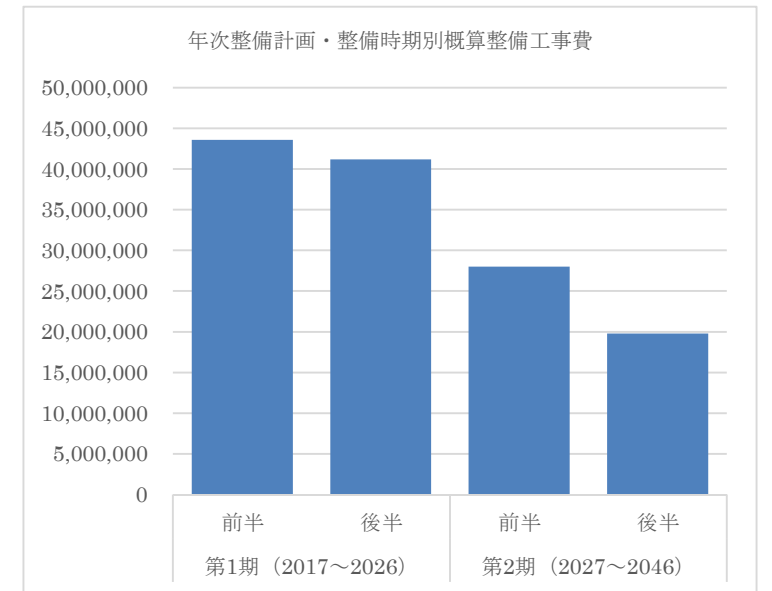
改修計画検討位置図

改修箇所	改修計画概要
a. 般2区の墓石(地盤)傾斜	園路において路面下の空洞の有無を非破壊にて調査・分析を行い、地盤沈下の継続的な観察を行う。
b. 管理事務所裏の斜面(土砂流れ)	法面勾配の緩和、植栽による法面被覆、法面上部に排水施設の整備を行う。
c. 新墓地への通路(舗装不良)	摩耗耐性のある舗装形態とし、基層および路盤は現況活用を行い、脱色アスファルト舗装の表層を新たに施工する。
d. 公衆便所(バス通り)の雨漏り	外壁の水洗い・再塗装、床のタイル補修、防水シートの補修、天井ボードの交換、照明カバーの交換を実施する。
e. 特等地の斜面(土砂流れ)	法裾の土留めウォールを10.0mの延長、法面の中腹部にそれぞれ3箇所(1か所延長≒3.0～5.0m)にシガラ工を設置、法面上部に人止もかねて常緑低木の植栽を行う。
f. 特等地から般3区に至る階段(土砂流れ)	階段の両サイドにRC擁壁を計画する。階段上部のサクラやアカマツを避けた形で階段位置を設定、階段下部に既存側溝につなぐ横断側溝を計画する。
g. 戦没者慰霊碑前の墓石(地盤)傾斜	全面的に撤去し再度、基壇となる擁壁を築造し、撤去の際は、墓石にNo.を付記し別途保管をおこなう。墓石上部の植栽のうち、根茎が影響を及ぼす懸念のある高木(サクラ)は撤去する。

(3) 年次改修計画の策定

市が改修の必要性があると判断した箇所に加えて、全体的な老朽化が進行している施設をランクA～Cに分けた箇所について改修計画を策定した。それぞれの改修計画については概算工事費を算出し、以下の考え方に基づき年次改修計画を策定した。

- ・整備年次は下記の2つに大きく分けて検討する。
 - 第1期：概ね10年程度を目途に整備を行い、前半（早急に行う）と後半に分ける。
 - 第2期：概ね10～30年程度を目途に整備を行い、第2期の中でも早い時期に整備を行う前半とそれ以外の後半に分ける。
- ・市で改修の必要性があると判断した改修計画案は、第1期での整備を基本とする。
- ・ランクAは第1期における整備を基本とする。
- ・同一動線上の改修計画など関連する改修計画で一体整備が望ましいものは同時期の改修とする。
- ・ランクCは第2期における整備を基本とする。



3. 墓地区画拡張計画の策定

(1) 敷地内の樹木台帳作成

檀波羅公園墓地園内を範囲対象として、現地の立木について、高木、低木、生垣に区分し、高さ、幹回り、樹勢を記録し調査結果をとりまとめ、写真、位置等について台帳整理、図面作成を行い、調査結果をとりまとめた。

年次改修計画概算費用

樹木台帳

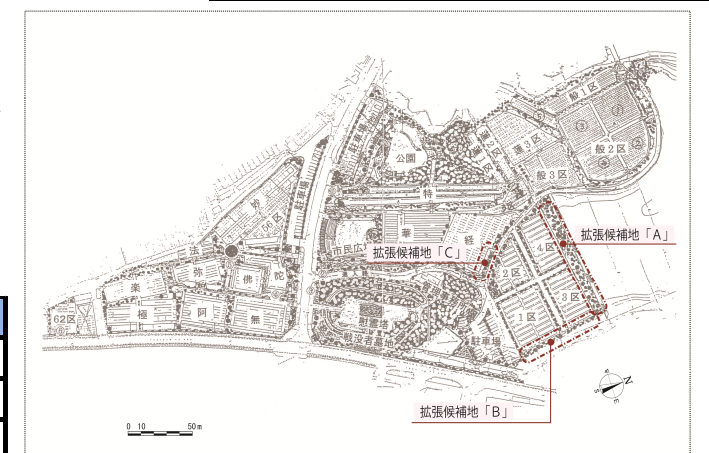
樹木番号	ナンバリング	樹種名	高さ(m)	幹周(cm)	樹勢	備考
1	1	メタセコイヤ	12	1.34	○	
2	2	メタセコイヤ	12	1.23	○	
3	3	メタセコイヤ	12	0.86	○	
4	4	メタセコイヤ	12	1.04	○	
5	5	メタセコイヤ	12	1.2	○	写真番号1
6	6	ソメイシ	8	0.49	○	写真番号2

(2) 墓地区画拡張の検討

墓地区画の拡張区域候補地についてA～C地点の3点を選定し、それぞれの候補地について、墓地区画拡張計画を検討し、計画平面図を作成した。さらに拡張計画について概算工事費を算出した。

墓地区画拡張候補地概算工事費

拡張計画対応項目	数量	金額	備考
拡張計画「A」区域	1式	2,900,000	拡張区画数:29区画
拡張計画「B」区域	1式	1,500,000	拡張区画数:28区画
拡張計画「C」区域	1式	2,800,000	拡張区画数:13区画



墓地区画拡張候補地位置